

2019ハ王子ロングディスタンス

【大会概要】

開催日時 : 11月23日(土・祝)

出場種目 : 10000m

会場 : 法政大学多摩校地陸上競技場

出場者 : 親崎 達朗(電装管理部・生産管理課)

リザルト(LAP) :

Lap	親崎		
出場種目	10000mZ組(G)		
1000m	2' 52" 0	6000m	17' 38" 2
2000m	5' 47" 0	7000m	20' 42" 0
3000m	8' 39" 1	8000m	23' 47" 5
4000m	11' 36" 2	9000m	26' 50" 0
5000m	14' 34" 0	10000m	29' 52" 25
順位	20位/28人中		

レポート :

本大会は、東日本実業団連盟が主催する大会で、全国から強豪実業団選手が出場するハイレベルのレースとなります。この大会に出場した親崎は、昨年同大会でも自己ベストを更新(29分18秒)しており、ここまでのレースや駅伝でも極めて安定した走り続けており、自信を持って自己記録を狙って出場しました。



当日は冷たい雨と風が吹くコンディションとなり、先頭集団の中でしっかりと力を溜めて中盤以降にペースアップしていくことが好記録を出す為の条件となりました。

親崎の出場した 10000m2 組 (G) はペースメーカーが 28 分台を設定タイムとしており、自己ベストを狙うには絶好のペースで、序盤は自己記録を狙って積極的に先頭集団についていきました。

ペースメーカーが的確にペースを刻み、3000m を 8 分 39 秒台で通過、自己ベストより早いペースで通過しましたが、ここで集団が縦長になり親崎もペースをキープするのが難しくなる中、懸命に集団に喰らいつき 5000m を 14 分 34 秒で通過したまでは自己ベスト更新も期待されましたが、5000m 以降に身体が固まってくると 3 分 / km を維持することが難しくなり、最後まで諦めない走りを披露するも 29 分 52 秒台でのゴールとなり狙っていた自己記録更新には至りませんでした。

今回は自己ベスト更新出来ず悔しい結果となりましたが、次週の日体大記録会では 5000m で自己ベストの 14 分 24 秒切を目指して出走する予定です。

今後とも、皆様の温かいご声援を宜しくお願い致します。

